



学ぶ巣

これからまなぶ一すを利用しようと考えている方に、活動の様子や学びをサポートすることも支援員、学習ボランティアさんの声をお届けします。◎まなぶ一すの利用は無料です。



★登録者数(両教室の合計) (2月28日現在)

小6:14名、中1:11名、中2:16名、中3:17名、
上記以外:27名 計:85名

☆教室ごとの学習支援登録人数(定員各50名)

区役所前教室:24名 / 西台教室:34名

★学習ボランティア登録数 大学生:26名、社会人:41名

★2月の利用実績

子どもの来所のべ人数:263名

学習ボランティアの参加のべ人数:27名



防災セミナー・避難訓練(12/24・2/25)



みなさんは、災害に備えてどのようなことをしていますか。30年以内に約70%の確率で首都直下地震が起こると言われています。まなぶ一すでは、緊急時に子ども達の安全を守れるよう、先生達で防災についての知識を深め、避難訓練を実施しました。防災セミナーでは、市民防災研究所の方にお越しいただき、日頃の備えの大切さを学びました。それを基に、地震による火災を想定して、避難場所に足を運びました。人は緊急時に普段やっていないことは出来ないといえます。緊急時にふさわしい行動がとれるようになるためには、十分な訓練が必要です。今回、改めて日頃の学習や訓練の大切を感じました。近々、子ども達と一緒に避難訓練を実施し、万が一に備えていきたいです！



セミナーのお知らせ

発達に凸凹のある子どもの理解と
関わりの工夫について
～今できる事を考える～

3月25日(金) 13:00~14:30

【内容】
大学生や社会人のカウンセリングを専門とする心理士の先生から、発達の凸凹についての基礎知識や、気になった行動への接し方、関係作りなど、子どものうちにできることをお話します。

【対象】
板橋区在住の概ね18歳までのお子さんを持つ保護者、支援者

※オンラインで開催しますので、興味のある方はぜひご参加ください。詳細は、HP「保護者・学習ボランティア向けセミナー」ページより確認いただけます。

HP <https://www.mana-booth.net>

防災意識を高めよう!

「ハザードマップの確認」自分の住んでいる地域で自然災害が起こったときに、どこにどのような危険があるか、どこに避難したら良いのかをハザードマップで確認しておきましょう。

「連絡手段の確認」災害時は電話回線が込み合い、連絡がすぐに取りれないことがありますので、緊急時の連絡手段を家族と共有しておきましょう。災害用伝言ダイヤル「171」にメッセージを残しておく、家族の安否を確認することが出来ます。毎月1日と15日に試験通話ができますので、ぜひ試してみてください。

「在宅避難への備え」特にコロナ禍の今、避難所の収容人数も制限され、行っても受け入れてもらえないケースがあります。自宅に倒壊や火事、浸水などの危険性がない場合は、自宅で避難生活を送る在宅避難という方法があります。そのため、お家には日常必需品を備蓄しておきましょう。

※「大したことはないだろう」という考えが、避難の機会を奪い命を危機にさらします。今年の3月11日で、東日本大震災から11年になります。災害は忘れた頃に必ずやってくると言われていいます。いざという時、自分や家族の身を守るために、日頃の備えが大切です。

